



地方大学の振興及び若者雇用等について

2017年3月2日

公益社団法人 経済同友会

- ✓ 経済同友会では、「地方創生」「教育改革」「イノベーション」「観光」「サービス産業」等の視点から、この問題を議論・検討

地方大学
の役割期待



企業としての
取り組み



地域のイノベーション・エコシステムの構築

サービス産業等の発展に資する人材の育成

人材の採用・育成・登用のあり方

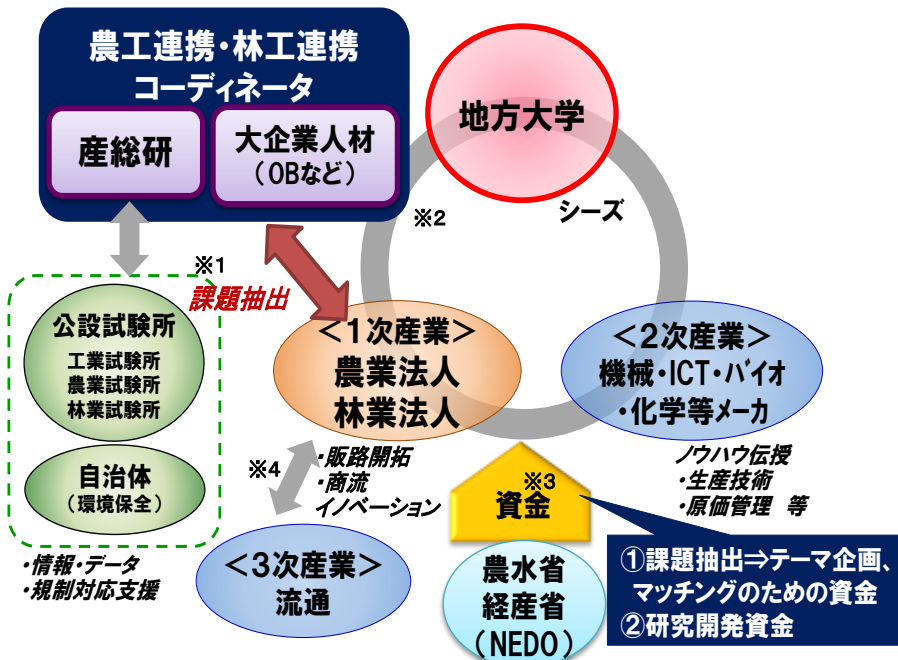
魅力ある仕事・
雇用の創出



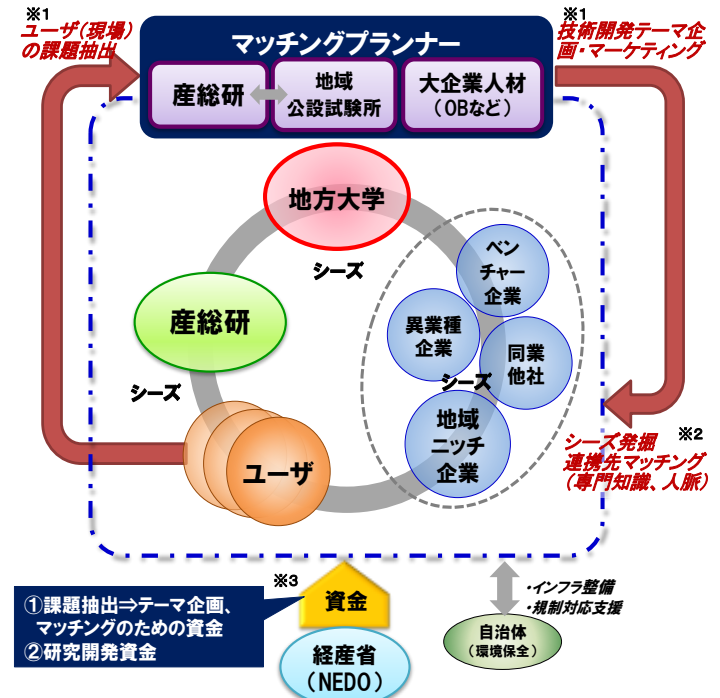
1. 地域のイノベーション・エコシステムの構築

- ✓ 地方大学を核とした地域のイノベーション・エコシステムの構築により、①ニッチな市場で競争力を有する地域の中小企業、ベンチャー企業の育成、②大学院生・若手研究者にとって魅力ある研究機会の創出、を図る。
- ✓ 現場に近い地方大学には、地域の発展に資する研究開発を期待。
- ✓ 成功の鍵は、外部人材の積極的な登用・活用、大学のミッションの再定義・明確化、など。

農業・林業の生産性向上／付加価値向上に向けたエコシステム（イメージ）



グローバルニッチ企業の持続的成長のためのエコシステム（イメージ）



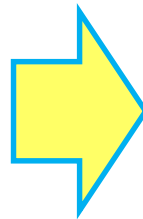
(出典) 経済同友会「今こそ、産学官連携によるイノベーション創出を」(2016年7月)

2. サービス産業等の発展に資する人材の育成

- ✓ 「工業高等専門学校」は、日本の製造業の現場を支える人材を育成し、その発展に貢献。観光などのサービス産業においても、現場リーダー層を育成するための「サービス高等専門学校」の創設が必要。
- ✓ マネジメント力など実践的な力を醸成するために、既存の教育機関の改革が必要（例：大学の観光関連学部等の教育内容の見直し）
- ✓ サービス産業従事者を対象とするリカレント教育の充実

各地域で求められる人材像

- ✓ 中小企業、農業法人、宿泊・観光施設等のマネジメントを担う人材
 - ✓ 生産性向上や顧客満足度向上に不可欠な現場のサービスリーダー
 - ✓ セクターを超えた連携を実現するコーディネーター
- 等



実践的な専門教育による人材育成

- ✓ 地方大学（観光関連学部、農学部、経営学部のあり方）
 - ✓ サービス高等専門学校
 - ✓ 職業訓練／リカレント教育
- 等

＜岩手の取組み＞

岩手大学・岩手県立大学
「COC+」事業



＜高知の取組み＞

高知大学 地域協働学部：将来を担う人材を地域全体で育てる

専門領域を横断した「地域協働」教育

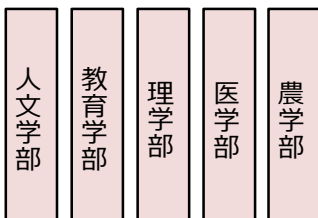
600時間を超えるフィールドワーク

＜～平成26年度＞ *全学改組前



人文・教育・農学部
教員が10年かけて
「地域協働」教育を
開発し、地域協働
学部へ配属

＜平成27年度＞



- 社会学・社会福祉学
- 経済学・経営学
- スポーツ ■ 農学
- 環境学 ■ 教育学
- 美術・デザイン



【地域理解→企画提案→実践→改善】を
地域住民と協働で展開

＜出典＞
高知大学地域協働学部パンフレット

平成28年度からは、
「地域協働」教育を全学へ展開

- 時代の変化に打ち勝つ力＝「強靱な学ぶ力」（上田地域協働学部長）
- 「地域自体が持つ人を育てる機能を活かす」「我々は皆、地域に学ばせてもらっている」「学生教育と社会人教育の統合」（須藤順講師）
- 「地域は理屈で動かない」「重要なのは、正しいことを押し付けるのではなく、信頼関係」（学生達）

＜出典＞
ふるさと岩手創造PJTパンフレット

3. 人材の採用・育成・活用のあり方

- ✓ 「企業の採用のあり方」+「大学教育のあり方」のW改革で、地方大学の学生にとって雇用機会が広がることを期待。
- ✓ 各企業の取り組みとして、それぞれの人事戦略や創意工夫に基づき、地方で若者に魅力ある仕事を創出することが可能。

新卒・既卒ワンプール／通年採用

キャリア教育を目的としたインターンシップ

+

大学による学生の資質・能力の保証

実践的な教育、大学評価の充実

- こうした改革が定着すれば、就職活動が「ワンチャンス」の競争ではなくなる。東京圏以外の大学の学生にも、就職に向けた様々な機会が広がる。
- 企業にとっても、「売り手市場」の中で、地方の優秀な学生の獲得をめざすことに。

企業としての取り組み

- 地域限定正社員の積極採用と、キャリアアップできる人事制度の構築
(一つのアイデアとして、全国に拠点を有する大企業は、地方採用を主とし、その中から能力のある希望者を本社に登用していく仕組みが考えられないか、との意見もあった)。
- テレワークの推進(地方在住でも、本社業務を担える環境)

等